

高浜地区タウンミーティング(要約)

テーマ：高浜地区のまちづくりについて

令和5年5月26日（金曜日）

【市長】 皆さんこんばんは。今日は週末の金曜日で、いろいろと忙しかったのではないかと思いますけれども、お集まりいただきありがとうございます。また、ありがとうございますと申し上げますと、高浜の方は温かいなと思ったのは、今日でタウンミーティング129回目になりますが、入ってきた瞬間に拍手で迎えていただいたのは数少ないです。あと、皆さんすごく声が出ているなって思うんです。高浜の方の団結力を感じました。開催に際し、高浜地区まちづくり協議会の会長さんを初め、地域の役員の皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。皆さんご存知のように、ゴールデンウィーク明けの5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に変わりました。この3年間、松山市からのお願いに対し、ご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございます。何度も波が来ましたが、皆さんのお力添えのおかげで波を乗り越えることができました。深く感謝を申し上げます。さて松山市のタウンミーティングですが、私が市長に就任させていただいた当初から始めています。1期目は、松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町合わせて41地区に分かれますが、その41地区を二巡りさせていただきました。そして、2期目からはこの地域別タウンミーティングに加え、世代別タウンミーティング、例えば大学生や専門学校生、高校生、子育て世代の方、働く世代の方、人生の先輩方、シルバー世代の方に集まっていたくタウンミーティング、そして農業の方、商店街の方に集まっていたく職業別タウンミーティングなど、地区別、世代別、職業別のタウンミーティングをしています。また今日もさせていただきますが、3期目からは、参加された皆さんから、タウンミーティングで松山市の取り組みを知ることができてよかったという声を多くいただきましたので、意見交換の合間に広報タイムを取り、まさに現地現場で汗をかいて業務に携わる市の職員から市民生活に役立つ情報の紹介をさせていただきます。現在4期目で、本日のタウンミーティングは通算129回目となります。頂いたご意見には、できるだけこの場でお答えします。中には、国と調整をする案件ですとか、愛媛県と調整をする案件、また、財政的によく考えなければならないことにいい加減な返事をして帰るわけにはいけませんので、その場合は、一旦持ち帰らせていただいて、1ヵ月をめぐりに参加された方に必ずお返事するというのが聞きっぱなしにしない、やりっ放しにしないという松山市のタウンミーティングの特徴です。今日はこれからの高浜地区のまちづくりについて、有意義な意見交換をさせていただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

【女性】 高浜地区全域で地域猫活動をしています。つい先週、港山で一人暮らしの高

齢女性が家の中で亡くなられていました。私たちは野良猫のことで彼女に関わっている最中でした。家の中に猫が取り残されているのですが、大家さんが鍵を閉めたら中で猫が死んでしまうし、外に出したら動物愛護法違反になってしまいます。飼い猫を野良猫にすると、おそらく生きていけないので、どうしようもなくなり、私たちのメンバーが家に連れて帰って一旦預かることにしました。今、譲渡先を探しているのですが、この会が終わったらチラシを配らせていただきます。公民館にも貼っていただくのでよろしくお願い致します。彼女は身寄りがなかったので、私たちにとっては初めての大きな出来事だったのですが、民生委員や包括支援センターの方に助けていただいて、できる限りのことをしました。このようなことから、猫のことを相談できる窓口が行政にないので、相談できるところがあったらいいなと切に思いました。高浜には高齢の方が多いです。高齢の方は猫を飼っている方が多くて、このおばあちゃんもとても慎ましい生活をしながら、猫の面倒を見ていました。別の方は、「家に猫が何十匹もおるんよ」と言われていて、このような現状は、ちょっと危ういと思っています。今、猫のことはボランティア頼みになっています。一步間違えると殺処分になりますが、松山は愛媛県の中でも殺処分なしでやっていただいています。しかし、ボランティア頼みになっている状況を、何とか行政の方に移行していただくようお願いしたいと思います。また今、動物愛護センターの計画も進んでいて、そこでどういったことをしていただくのか伺いたいです。殺処分は非常に悲しい方法で、殺処分になった場合は、県に送られると思いますが、せめて安楽死にさせていただくようお願いします。

【保健福祉政策課長】 松山市では、猫の不妊去勢手術の事業に、令和4年度が650万円のところを令和5年度は1,000万円に増やし、これまで年度途中で終わっていた助成をできるだけ年度内は続くように予算を増額しています。猫は年3回子どもを産むこともあり、手術のタイミングを逃してしまうことがないように、1年を通じて補助できる予算を用意させていただいています。また、この制度は地域を限定せず、市内の各地区の皆さんが希望すれば、誰でも補助を受けることができます。今後も殺処分がないように、引き続き支援をしていきたいと考えています。

【市長】 予算を増やしながらいっているところです。これは行政だけではなかなか難しいところがあって、ボランティアの方にご協力をいただきながらやっています。先ほど触れていただいた、新しい動物愛護施設を説明します。総合公園を上がり、中腹辺りの駐車場を越えて、愛光学園の方に行くと、大きい駐車場があって、そこに管理棟という建物があります。その空いているスペースを使って何か松山総合公園でいい取り組みができないかということで、管理棟の前に動物を譲渡する施設を設けて、よりワンちゃん猫ちゃんの譲渡に繋がりやすい場所にしていきたいと考えています。来年3月までには松山総合公園に動物愛護施設ができる予定です。今、松山市では殺処分はしていないんですけれども、そこを活用しながら、大事な命ですので殺処分をしなくていいように進めていきたいと思っています。

【男性】 六丁目の多目的グラウンドの電源についてのお願いです。今まで、高浜地域のイベントや公民館行事の時に電源がないため、発電機を使ったり、発電機でまかなえない時は電気工事業者をお願いしたりして、電源を確保していました。今後は、できるならば大容量とまでは言わないですけど、ある程度の容量の電気設備の設置をお願いしたいのでご検討ください。

【都市・交通計画課長】 このグラウンドがある松山観光港の多目的広場は、地元の要望を受けて、松山観光港の一部として平成9年度に県が整備して、松山市が県から維持管理の委託を受けています。ここでは、高浜地区の住民がグラウンドゴルフやペタンクなどコミュニティの場として利用されていることをお聞きしています。また、グラウンドの利用窓口や除草清掃などを地元の高浜地区の自治連合会の皆さんにお願いしています。そこで、電源が必要な場合は、まずは使用目的や希望する容量などを地元でお話いただいて、空港港湾課に相談いただければ、県と協議させていただきたいと思います。

【市長】 こういう時に使いたいという使用目的やこれぐらいの容量が欲しいという内容を地元でまとめていただき、空港港湾課に言っていただければ愛媛県と協議しますので、遠慮なく相談いただけたらと思います。

【男性】 私は走ることが好きでよく走っているのですが、今日お願いしたいのはごみ問題です。この地区を走っていると、コロナの影響だと思われませんがマスクがよく捨てられているほか、他のごみもすごく多いです。地域で清掃して一時的に綺麗になるのですが、大きい道路の植え込みには、どうしてもごみが溜まってしまいうんです。私は最近プロギングというごみを拾いながら走るという運動に興味を持っていて、走るランナーやよく散歩する皆さんを巻き込んで、一緒にゴミ集めをしたいと考えています。しかし、ごみ箱が全て撤去されていて、ごみを捨てる場所がないのです。ごみを持って走るわけにいけないので、何か所かにごみ箱を作ってもらえたら、参加した人たちに、その場所まで持って行って捨ててもらえませんかと思っています。こうすることで、少しでも綺麗なまちになるかなと思っています。それとお遍路さんが歩く太山寺の周辺の山も、結構ごみが捨てられています。気持ちよくお遍路してもらうためにも、綺麗にしたいと思っています。そのため、ごみ箱の設置とごみの回収を検討していただけたらありがたいと思います。

【市民部長】 地域ボランティアで清掃活動をされた時などに、集めたごみを取りに来てもらえる可能性があると思いました。イベントという考え方は確かに楽しいとは思っていたんですけども、イメージとどれぐらい合うのかもありますので、地域で清掃をされた場合も含めて、清掃課に話をしてみます。

【市長】 趣旨はとても分かります。コロナがあったので最近は走れていないですけど、私も家から和気に出て、勝岡に走ってトンネルを通過して帰るランニングコースをとることがあって、ごみのことは感じることはあります。実は今、ごみ箱ってものすごく少なくなっています。傾向的に言うと、ごみ箱を置くと、ここに捨てたらええんよとな

って、ごみ箱とごみ箱の周辺がものすごく汚れることが多いんです。そのため、全国的にごみ箱は少なくなって、皆さんでごみはできるだけ持ち帰ってくださいという形になっているんです。すごく気持ちは分かります。一旦持ち帰らせてください。例えば、マイロードサポーター制度と言って、この道は私たちが清掃活動するんで、自分たちで名前を付けさせてくださいという制度や、ワンちゃんと散歩しながらごみを拾う活動に表彰する制度などあります。そこで、どういう形が一番いいのか、持ち帰らせていただいて清掃課から回答できればと思います。それと、あつて欲しくないんですけど、ごみ箱って危険なものを入れられたり放火されたりすることがあるので、ごみ箱が全国で少なくなっているのが現状です。

【男性】 高浜地区への若者の移住についての意見です。高浜地区も少子高齢化や空き家問題が他の地域と比較しても深刻になっていると感じています。これは高浜地区に住もうと思う若い世代が少ないことが関係していて、それらの世代に住んでもらうことが、少子高齢化や空き家問題を解決する対策の一つと考えています。以前テレビ等で過疎が進む町が空き家を改修し、家賃も援助することで、若者が来てくれた番組を見ましたが、収入の少ない若い世代にとって、家賃や改修費用が免除されるのは魅力の一つだと思います。そこで、高浜地区への移住支援を立ち上げていただきたいと思います。例えば、若い夫婦や子どもがいる家庭にターゲットを置いて、子どもが18歳になるまでは家賃やリフォーム代の何割かを応援するといったサービスを提供する内容です。そこには地元の活動にも積極的に参加するなどの約束事を入れていただくと、このサービスを受けた住民は、少なからず地域のことを意識すると思います。この支援は不動産会社との連携などが必要だと思いますけれども、家を探している人に、高浜地区の空き家なら移住支援が受けられるなどの付加価値をつけてもらいたいと思います。若い世代が移住したくなる高浜にするためには、地元住民のアピールもさることながら、松山市からのサポートも必要だと考えますので、検討をお願いします。

【市長】 松山市で設けている制度の紹介の前に、先ほど速報でもらった松山市の移住者数をお知らせします。令和元年度の移住者数が472人、令和2年度が726人、令和3年度が1,938人で、最新の数字になりますが令和4年度が2,787人と、かなり増えてきているのが松山市全体の移住者数です。おっしゃられたように、地域に若者が増えるとまちの賑わいが生まれ、活性化に繋がると考えています。松山市では若者が、移住先や定住地として松山を選んでもらえるようにさまざまな取り組みをしています。松山に来ていただいて、松山の良さや暮らしやすさなどを体感できる移住体感ツアーや婚活ツアーなどを、年間を通して開催しています。また、令和2年度からは、参加者が体験したいことや見たい場所を聞き取って、その人に応じたツアーを企画するオーダーメイド型の移住体感ツアーを始めています。漁業や農業などに興味がある方を高浜地区にお連れして、地区の魅力をお伝えできればと考えています。また今年4月からは、県外から

移住する子育て世帯の引越し費用の一部を上限 10 万円まで補助するのに合わせて、中学生以下の子どもがいる世帯には 1 人につき 5 万円を加算する「子育て世帯いらしやい事業」を始めるなど、子育て世代の移住を強く推し進めています。補助した方にはお金だけを差し上げるのだけではなく、貢献もしていただきたいため、移住体感ツアーや移住者交流会に参加して松山市の移住を促進する PR 活動に協力してもらおうなど、移住希望者に松山市の暮らしやすさを伝えてもらう予定となっています。今後も移住、定住、Uターンに繋がるよう、担当職員が積極的にさまざまな機会や場所に伺っていきたくと思っています。また、松山市では、新たに農業をしたい方に資金などを交付する制度があります。この制度は移住者の方も活用できますので、ご希望の方は農水振興課にお問い合わせをいただけたらと思います。このようにさまざまな移住の取り組みを行い、結果は出てきているところです。すごく気持ちは分かるんですけど、高浜地区だけに限定するのは公としては難しいところがあって、なぜ高浜だけなのか、うちの地区もやってよとなるので、限定はできないんです。しかし、先ほど説明した制度がありますので、活用していただけたらと思います。それと、皆さん絶対にうつむかないでください、諦めないでください。私が市長になった平成 22 年ですが、当時、北条への投資なんて無駄だみたいなことを言う方がいたんですけど、鹿島の前にある北条の土手内地区には、すごく若い方が増えているんです。また、私は同じ瀬戸内にある岡山の大学に通っていましたが、岡山では、牛窓海岸という海水浴場に行くためにバイクで 1 時間走らなければなりません。高浜なんて市内から 15 分や 20 分で来れるじゃないですか。高浜は足に当たっても気持ちいい砂浜です。岡山の牛窓海岸は結構有名ですけど、足に当たったらちょっと痛いような石がある砂浜なんです。こんなに綺麗な砂浜があって、綺麗に落ちる夕日や空港に降りて行く飛行機、フェリーの行き来も見える場所ってなかなかないですよ。ぜひとも地元にお住まいの方が、高浜はいい場所だと思っていただいて、どんどん若い方を誘っていただけたらと思います。

【男性】 今、市長も言ってくれましたが、景色の良い梅津寺を中心に観光地が開けていますけれども、先日、梅津寺の駅舎を通りかかって見たんですが、トイレが無いのです。無人化したため、駅舎に鍵をしまったんです。数年前に、駅舎の端にあった素晴らしいトイレは壊されて、今は自転車置き場になっています。先日は運動会の時に、梅津寺の駐車場を借り上げてくれて、私も車を置いたんですが、その時に、そこで仕事している方と話したら、公園の中にもトイレが無いと言っていました。だから梅津寺駅の周辺にはトイレが無いんですね。最近、みきゃんパークというお店ができたんですけども、そこに無理をいって、2 階まで上がってトイレを借りなければいけないのです。今、秋山兄弟の像などいろいろな名所があるんですが、訪れた人がトイレに行きたくなった時に、伊予鉄の掲示物には「最寄りの駅のトイレを使ってください」と書いてあるだけです。最寄りの駅だと港山か高浜の駅に行つて用を足さなければならぬの

です。常識では考えられないようなことを駅舎に張っているのです。本当に、地元交通の要を持っている会社が、観光客にも高浜の人たちにも、手が届かんようなことをしているんで、個人的に言うよりも行政から言っていたら、ことが進みよいということで発言させていただきました。よろしくお願いします。

【都市・交通計画課長】 ご意見をいただいた梅津寺駅のトイレやトイレのある土地は、先程も言っていたように、郊外電車を運行している株式会社伊予鉄グループの所有となっています。今回のことを伊予鉄グループの会社の方に、私どもから事情を確認したところ、梅津寺駅の待合室のトイレは、電車利用者の利便性を進めるために設置していたんですけれども、令和4年4月1日に、梅津寺駅が無人化になったことに伴って、施設の保全と防犯の両面から、現在は駅舎そのものを施錠して、待合室およびトイレの使用を止めているとお伺いしています。今回のことを受けて、私どもがご意見をお繋ぎするとともに、都市・交通計画課からも伊予鉄グループに再度要望したいと思しますので、よろしくお願いします。

【市長】 私、子どものころ、梅津寺には愛媛新聞の鶴田先生の水泳教室に通っていたので、すごく思い出のある所です。先ほど駅に行ってきましたが、昔あったトイレが無くなっていますね。やはり人間は、どうしても生理現象でトイレに行きたくある時があります。みきゃんパークにはトイレはあるんですね。どうしても我慢できなくなったら、営業時間もあるのかもしれませんが使わせてもらうとか、何かいい方向になればいいのではと思います。私どもから伊予鉄に伝え、皆さんに回答をお返しします。

広報タイム①「家具転倒防止対策の必要性」

【男性】 尺の長い文を考えていましたが、時間的な問題ではしよらせていただきますので、ちょっと分かりにくかったら後ほどご質問いただけたらと思います。今日は高浜地区の特徴を生かした地域振興計画について提案し、説明させていただこうと思います。高浜地区は広く綺麗な海岸に面したまちです。県内最大の港、松山観光港は海路の中心で、九州小倉行き大型フェリーや広島行きフェリー、スーパージェットなど何隻もの船が行き来し、多くの人が利用する松山市の海の表玄関です。何より、港から海を隔てた対面に興居島小富士山を一望できる素晴らしい景色があり、まるで絵に描いた美しさは、見る人に感動と安らぎを与えてくれます。季節とともに沈む夕日は場所を変えながら、さまざまな景観を作り出し、伊予市のふたみシーサイド公園に並ぶ松山の海の絶景ポイントです。そこに高浜地区の特色あるシーサイドを生かしたまちづくりの活性化を考えます。ふたみシーサイド公園のように、観光港周辺の環境整備をすることで、松山市民や多くの人が訪れる海の憩いの場としての活用法です。交通のアクセスも良く、車やサイクリングの他、電車、バスを利用して簡単に来場できる立地条件に恵まれており、大きな効果が日常的に得られることが期待できます。そのような将来的活性化案に先駆け、

シーサイド地区高浜の魅力を多くの人に知ってもらう活動として、地域住民主体で行うイベント日曜市の企画を予定しています。日曜市のネームは、はまSUN市です。ハマはひらがなで高浜のはま、サンはS・U・N、それに漢字の市です。実行委員会はまちづくり協議会に属し、初年度の今年は、年内11月の日曜日に一度と日付けは未定となっていますが、来年3月に2回目を予定しています。結局は、大勢が集まっていただけの高浜のシーサイドの環境を利用した日曜市を展開して、高浜ならではの活性化計画に繋がりたいと思います。

【まちづくり推進課長】 ご質問の趣旨は、地域の日曜市を一緒になってバックアップしていくという趣旨だと思います。日曜市に限らず、いろいろなイベントをまちづくり協議会や各地区で開催しています。どの地域もイベントを行う場合に、どういう趣旨で、どういうイベントをやるのか、またどこを主体として中心に取り組むか、どのような内容をどういう形でどう展開していくかなどしっかり話を詰めて、協力しながら進めていく必要があると思っています。そのあたりを今、まちづくり協議会の中でお話し合いになっているかと思っています。目的とか趣旨、またどういう方法で実施するのかなど、これから地域の中でしっかり考えていただいて、取り組んでいかれることをお願いしたいと思います。

【市長】 例えば、花園町が新しくなって、地域の方が中心に花園日曜市を行っているんです。花園日曜市は代表的な事例で申し上げましたが、準備をどうするのか、実際に本番ではどうするのか、片付けをどうするのか、かなり綿密に打ち合わせをしています。1回だけで終わるのではなく、やっていただくからには、しっかりと地域の方で話し合っていて開催することが成功の秘訣だと、各地区の事例を見て感じています。そのため、地域でしっかりと話をしている形を作っていたらと思います。

【男性】 本日は、一時避難場所の整備拡充について提案させていただきます。高浜校区内の指定避難場所、いわゆる一時避難場所は、六丁目の高浜公園の他に8カ所ほどあります。ほとんどの場所は、津波浸水想定区域や高配置に急傾斜があります。また、進入路が狭く、津波被害を想定した時には、利用度の低い環境下にあります。一時避難場所となっているすみれ野北公園は、昭和59年にすみれ野団地が宅地開発された際に整備開園された公園で、面積は3,050㎡、海拔は42mの位置にあります。東南海地震発生時に、すみれ野北公園には、高齢化の進むすみれ野団地はもとより、近隣の周辺地域から多数の一時避難者の利用が見込まれています。しかし、すみれ野北公園のトイレは、和式大便器および小便器各一式のみの旧形式形態となっています。身障者対応等の多機能のトイレは未整備な状況で、経年劣化の施設です。その対応とともに一時避難場所の機能強化の観点から、災害対応型の高規格で多機能なトイレ整備は喫緊の課題と言っても過言ではないと思います。防災減災に向けた取り組みとして、高規格トイレの整備をぜひお願いできればと思います。ご検討よろしく申し上げます。

【市長】 まず、私から津波の説明をさせていただいて、そのあとトイレの話をしたいと思います。他地区のタウンミーティングで、津波の高さがうまく伝わっていないと感じたことがありましたので、分かりやすくまとめたものを持ってきました。実際に公が出しているものですが、南海トラフ巨大地震の最も大きい津波の到達予測です。高知沖が震源地と想定した場合、満潮時の海面の高さの平均 1.9m に、松山では最高の津波高 2m が加わって 3.9m と言われています。満ち潮や引き潮がありますが、これは満ち潮の時の高さに津波高が加わるため、3.9m との言い方になります。要は分数をご覧いただいたらと思うんですが、高知県沖で地震があった時に、土佐清水では、22 分後に 35m の高さの津波が訪れると予測されています。宿毛で 26m の津波が 30 分後で移り変わっています。愛南町が 16.7m の津波が 35 分後に、日振島では 48 分後に 10.1m、川之石では 72 分後に 9.1m、伊予市の森では 181 分、つまり 3 時間後に 4.3m が、松山では興居島の由良ですけど、199 分後に先ほど申し上げた 3.9m の津波になります。このような形で津波が来ることをお分かりいただけるかと思います。時間的な余裕が 3 時間 19 分あるという予測です。皆さん、東日本大震災の映像をご覧になって、すごく不安になられたと思いますが、今想定されている南海トラフを震源とした地震時の津波が、たちまち来るわけではないのをご理解いただきたいと思います。しかし、時間的な余裕があるといつてうかうかしてはいけませんので、そこは間違えないようにしていただけたらと思います。それでは、トイレのことをお願いします。

【都市・交通計画課長】 災害時だけでなく、日常の利用でもトイレのバリアフリー化や洋式化は、利用者に優しい取り組みとして進めていく必要があると思っています。この公園のトイレは昭和 61 年に建てられて、現在が小便器一つと、和式のトイレが多分一つだけだったと思います。このトイレの建物の更新時期は、大体コンクリートの建物で 50 年っていうのがあって、計算上だと、令和 18 年となっていることから、まずは、今の和式のトイレを洋式便所にすることはできると考えています。よろしければ要望書を公園緑地課に提出いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

【市長】 公園のトイレは、公園管理協力会の方が清掃してくださっています。皆さん、和式のトイレと洋式のトイレはどちらが掃除をしやすいかと言ったら、和式なんです。水を流して掃除しようと思ったら、和式の方が早いのです。公園管理協力会の方からすると、洋式はちょっと掃除がしにくいという部分はあります。でも、最近の流れとしては、足が痛いと言って和式から洋式になっています。そういうことで、公園管理協力会の方が、苦勞しながら清掃してくださっていますので、皆さんもマナーよく使ってください。マナーの悪い方もいるんです。すごく汚したり、トイレットペーパー持って帰ったり、中には火をつける方もいるんです。トイレで放火があったと聞くことがありますよね。地元の公園管理協会の方が本当に一生懸命に管理している紹介をさせていただきました。それでは、地区で意見をまとめて要望書を出していただくといいと思いました。よろしくをお願いします。

広報タイム②「熱中症は予防が大切です」

【市長】 皆さんに、一時避難場所と避難所の2種類があることをお伝えできたらと思います。公園は一時避難所で、一時的に避難をする場所です。そして、避難所はどちらかというところと体育館や学校、公民館などをイメージしていただけたらと思います。一時避難場所と避難所があるというのを覚えていただけたらと思います。

【男性】 市長が梅津寺海岸のいいところ素晴らしいところをおっしゃっていただきました。私も住民なので、市長と同様に、そのことは重々分かっています。今、海水浴場として指定や認定などはないと思うんですけど、人を集めるときに、海水浴場として指定などしていただけたら、人が来ることもあると思うんです。そこは愛媛県の管轄だと思うんですけど、協力して、何とかもう一度、海水浴場として復活できるように指定などしていただけることはできるのでしょうか。

【市長】 ありがとうございます。間違ったこととお話してもいけないので、海水浴場のご意見は持ち帰らせてください。これからの話は、私の記憶の中で話しますので、もし間違っていたらすみません。確か、サメよけネットのことが関係をしていたと思います。わがまちメールという市長への直接のメール制度があり、これまでも、梅津寺海岸を海水浴場として復活させてくださいというご意見が来ていました。その回答の記憶なんですけども、サメに潜水士の方が襲われる事件があって、サメよけネットがないと心配だということになったのですが、サメよけネットの設置がいろいろな理由で難しくなったことから、海水浴場でなくなったという流れだったのではないかと記憶しています。記憶間違いだったら申し訳ありません。持ち帰りまして、正式に回答させていただいたらと思いますので、よろしくをお願いします。

【男性】 市長のアドバイスをいただきたいので、直球で行きます。コロナが収束しかけています。そういった中で、新聞等では、道後地区で観光客や飲食業もだいぶ復活したとありました。表向きは、平常の年が変わってきて我々も歓迎したところですけど、地域にとっては落とし穴があって、3年間、子ども会の活動を全くしていないんです。そのため、3年間、毎年役員が代わった時に皆さんは「やれやれ、何もせんかって良かった」というのが本音です。それで、私が聞いた範囲では、新しく今回役員になった方は、この校区でも、二つか三つの校区で子ども会活動は中止と聞いています。中止になると何がどうなるかといいますと、先週ありました運動会で、子どもが全く集まらない地区がありました。これから予定している夏祭りも子どもが来なかったら夏祭りになりません。秋祭りも子どもが主体です。そういったことにサポートする子ども会のお母さんの役員が協力できない場合は、せつかく準備して地域を盛り上げて4年ぶりにやろうかと

いった行事が、全く盛り上がらない状況が生まれてくると思います。どうしたらいいか何か良いアドバイスがあれば教えていただきたいと思います。

【市長】 直球で来たので、もう思い付きで話しますが、模様眺めのところもあると思います。皆さん、本当に3年3カ月、全世界がコロナに襲われて、このゴールデンウィーク明けに2類から5類になりましたが、だからといってコロナが急にゼロになるわけではないんです。今日も感染対策をしながらやらせていただいていますけれども、今、松山市内でもコロナにかかっている方はいらっしゃいます。やはり、絶対に子育ても人が繋がった方がいいんです。高浜地区がそうだったように、防災でおばあちゃん逃げないかんよ、おじいちゃん早く逃げないかんよって、顔の見える関係がありました。介護も、抱えるようにして介護するよりは、絶対に隣近所の人がちょっと見といてあげるみたいな繋がりがあった方がいいんです。子育ても介護も防災も絶対に地区の繋がりがあった方がいいのです。町内会の活動は、コロナの前からですが、防災を切り口にすると、結構、皆さんの関心が高いので参加率が高まってくるデータはあります。

【まちづくり推進課長】 先週は、まちづくり協議会の総会にお邪魔させていただきました。先ほど話がありましたけど、リアルに開催されるのは3年ぶりぐらいですよ。我々、まちづくり推進課なので市内各地のまちづくり協議会にお邪魔しますが、今年は私も担当課長も含めて、いろいろな総会に参りました。去年は、総会を開く所はほんの少ししかなくて、今年は、やっと総会ができるようになったとの声を聞きます。5月8日が過ぎてからは、やっと日常が戻ってくるという思いで開催された方と、いやいやまだまだ少しその空気がないぞという方がいらっしゃいました。先ほど市長の話の通り、子どもたちに参加してもらうため、子どもたちの親世代をまちづくりに取り組んでいくのは、まちづくりを持続可能にするために非常に大事なことです。試し試しになると思いますが、頑張ってお手伝いしていただけたらと思います。我々も応援させていただきますので、よろしくをお願いします。

【市長】 まちづくり協議会の良さは横の展開ができることです。別の地区のまち協では、こんなイベントしたことでたくさん子どもや親が集まりましたとか、人気のイベント情報などお伝えしますので、どうぞ遠慮なくご相談ください。

【男性】 市長にお聞きしたいんですが、高浜だけでなく防災全体を見たときに、山の上に避難道路を作ろうとか、崖とかがあるなどいろいろな所での工事が発注されると思うんですが、そうではなく、例えばここに避難道路をつけたいとか、この上に避難所があるんだけど上がっていく道が非常に不便であるとか、そういう時に、各課を巻き込まずに、工事を発注できる部署やお金があるのか相談させていただきたいと思うんです。地域によって全然違うと思います。高浜だけでなく市全体の話でもあります。

【都市・交通計画課長】 確かに身の回りの危険だな、直して欲しいなって感じる場所はあると思います。どうしても道路や河川などの工事は多額の費用や期間が必要なため、

いろいろな情報を基に全体的に計画を立てて工事を進めています。ただ場所や物によって、国や県が関係したり市の中でもいろいろな部署に関係したりする場合がありますので、まずは道路河川整備課に相談いただければ、現場を見て、それに対して国や県、他の部署と協議をした上で、ご回答させていただけたらと思います。

【市長】 方向性は、道路の話ではなかったのかと思います。例えば、立岩地区につつじ祭りをする貫之山という山があるんですけども、上がっていく道が険しかったんです。危ないから安全な道を行こうと思ったら、ずっと回らないといけないところがありました。タウンミーティングでご意見いただいて、ちょっと険しい所に階段と手すりをつけた事例もあります。地図を持ってきていますので、実際の場所を教えてください進めていけたらと思います。あと、一点だけ私から、今松山市では、公式LINEアカウントがあります。使い方は、「みなさんからの通報」から「道路異常通報」を選択してください。LINEは携帯電話ですから、場所も撮影できます。そこで、その場所を撮影して情報を飛ばしたらすごい楽です。痛んでいる場所の事例があったら、LINEで送れる取り組みもやっています。松山市では新しく、みち水路メンテナンス課を作り、即座に対応できるようにしましたので、ここは危ないという場所がありましたら、遠慮なく教えてください。松山市の黄色い道路パトロールカーが3台走っていますが、やはり限界がありますので、皆さんが教えてくれると非常に助かります。

【女性】 民生委員をしています。独居高齢者の場合、松山市に書類を提出するのですが、淡路に研修に行った時に、市の社会福祉協議会の方が、独居高齢者がどこに寝ているかなど就寝場所を把握していたので、みんなが助かったことがありました。私たちも、寝ている場所を書類に書かしていただけたらとても楽と思うんです。報告する書類にその欄を設けていただけたら助かります。

【保健福祉政策課長】 独居高齢者の方の安全安心ということで、いつも民生委員の方にお世話になっています。災害時の避難行動要支援者もあって、登録する際に民生委員さんにお世話になっています。民生委員さんにはさまざまなお手間をかけることも考えられますので、会長ともご相談をさせていただきながら、避難行動の取り組みと併せて、今後の計画の中で検討させていただけたらと思います。

【市長】 終わりの時間が近づいてきましたが、最後にちょっと私から安全安心について、防犯面での安全対策を触れさせていただいたらと思います。冒頭で、通学路の安全点検について説明をさせていただきましたが、令和4年度からスクールガードリーダーになる方を養成して、地域の見守り活動の質を上げています。警察官のOBの方がいらっしやいますよね。引退されるのはもったいないです。警察官のOBの方は、防犯や交通安全の知識があるので連携させていただいて、令和5年度からスクールガードリーダーを地域に配置して、より子どもたちの安全安心を高めているところです。今年度から

は全ての校区で、防犯の専門知識を持った警察官のOB10名が巡回していて、通学の見守りボランティアの方への助言や研修を行うなど、地域の見守り活動の質を高めているところです。このような防犯の取り組みもしています。締めの話になりますが、市・県・国とありますけれど、皆さん、国の役所に行くことってあまりないと思うんです。やはり一番身近な存在なのは戸籍や住民票などを扱う市や町、村だと思います。基礎自治体と言いますが、私たちはできる限り皆さんの声を聞かせていただきたいと思います。皆さん、どうせ市役所に言うたって変わらないなんて思わずに、敷居を高くしないでください。こういうやり方もできますよ、こんなことをやっている所もありますよなど情報提供もできます。市役所は、市民の皆さんの役に立つ所で、市役所じゃなきゃいけないと思っていますので、どうぞ遠慮なくこれからも言っていただけたらと思います。今日は本当に、高浜の方は、優しいな団結力があるなと思いました。まず最初に拍手で迎えていただいたこと、そして、消防職員、保健師の話をしっかり聞いていただいたこと、時間の配慮をいただきながら発言をしていただいたこと、本当にいいなと思いました。これからも、皆さんの声を聞きながらやっていきたいと思っています。今日は本当にありがとうございました。

—了—